

## 令和 6（2024）年度認知症総合対策推進事業実績について

### 1 認知症に関する理解の促進と家族への支援

#### (1) 認知症サポーター養成講座の開催

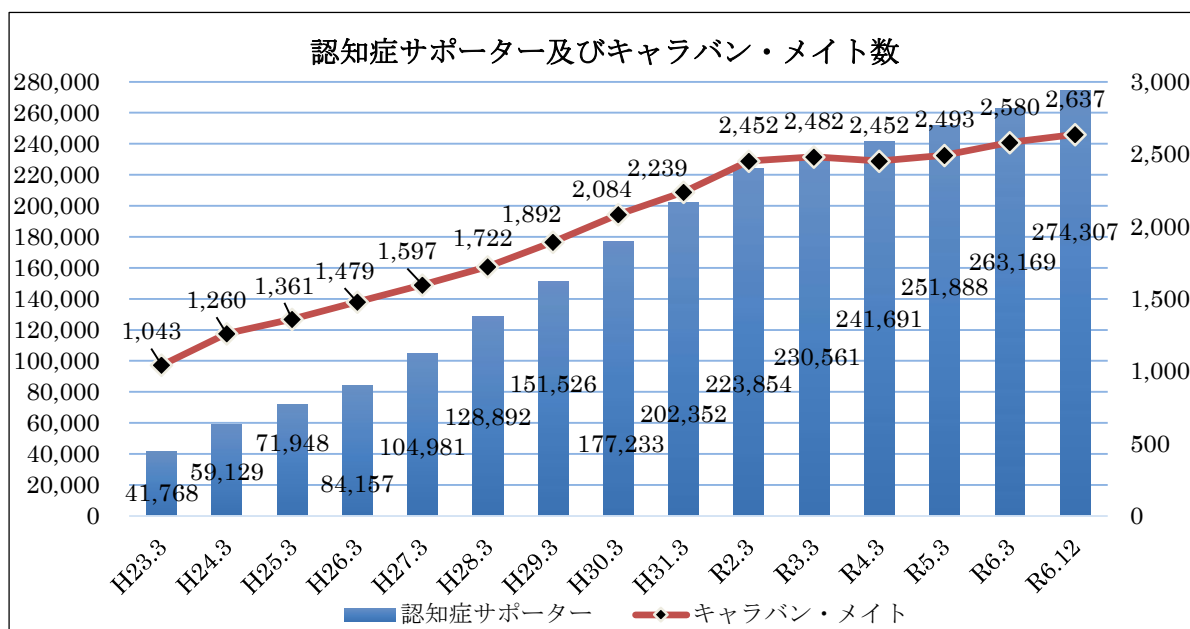
認知症キャラバン・メイトの有資格者が講師となり、県では県域の地域活動団体や職能団体等に養成講座を開催。市町においても、市町内の多様な団体を対象に開催。

養成数（令和 6（2024）年 12 月末）  
全体：274,307 名 県庁：2,637 名

#### (2) 認知症キャラバン・メイト養成講座の開催

市町担当者、介護職員を対象に、認知症サポーター養成講座の講師となる認知症キャラバン・メイトを養成。

令和 6（2024）年 6 月 4 日開催 修了者数 92 名



#### (3) 家族介護者研修会の開催

認知症の家族介護者を対象にした研修会を開催予定。

（公社）認知症の人と家族の会栃木県支部委託

開催日 令和 7（2025）年 3 月 24 日

内 容 認知症の人本人の思いを尊重した接し方や介護の方法等を考える内容

講師 コスガ 総一氏

#### (4) 認知症電話相談等の実施

認知症の人や家族が抱える悩みや不安、介護に関する相談等に対応する電話相談や来所相談を実施。

（公社）認知症の人と家族の会栃木県支部委託

●電話相談件数 65 件（R6. 4. 1～R6. 9 末）

〔電話相談〕毎週月～金曜日 13:30～16:00、電話番号 028-627-1122

●来所相談件数 55 件（R6. 4. 1～R6. 9 末）

〔来所相談〕毎月第 4 水曜日 13:30～16:00

(5) 出張どこでも認知症カフェ開催事業

認知症の人本人による、移動認知症カフェを開催予定。

(公社) 認知症の人と家族の会栃木県支部委託

令和7(2025)年3月14日(金) 下野市

令和7(2025)年3月27日(木) 日光市

令和7(2025)年3月28日(金) 益子町

#### (6) とちぎまるっとオレンジプロジェクトの実施

広報媒体を活用した、認知症への理解を深めるための普及・啓発を実施

令和6(2024)年9月21日 下野新聞紙面掲載

掲載内容 各市町が取り組む認知症施策（チームオレンジ等）の紹介

(7) 県庁舎オレンジリングライトアップの実施

9月の認知症月間に合わせて、県庁舎の  
ライトアップを実施

令和6(2024)年9月20日～23日



(8) とちぎオレンジF E S2025 を活用した県民への普及啓発

下野新聞社との共催で実施したとちぎオレンジFes2025

に合わせ、（公社）栃木県認知症の人と家族の会や各種団体や一般企業等と連携し県民広場等においてブース出展を行い、認知症に関する正しい知識と理解の促進に務めた。

令和7(2025)年2月22日(土)



## 2 医療と介護の連携による適切な対応

### (1) 認知症疾患医療センターの設置・運営

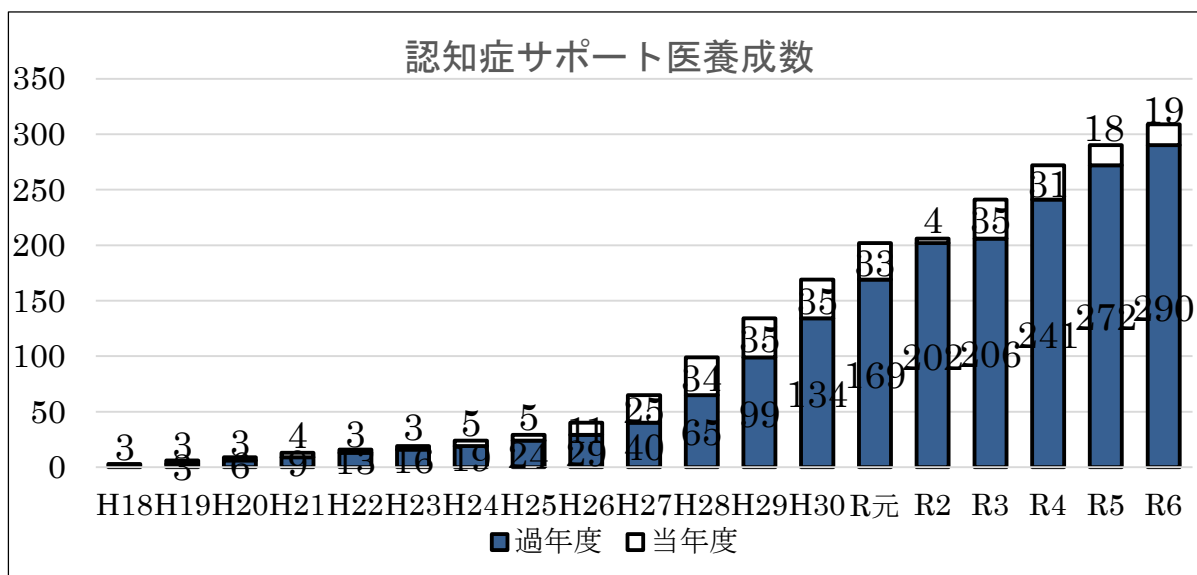
- 1) 県内 10 か所の病院にセンターを設置し、運営を委託
- 2) 認知症疾患医療センター連絡会を開催。

開催日 令和 6 (2024) 年 7 月 30 日開催  
 内 容 行政説明及び各センターの取組状況の共有、意見交換等  
 参加者 9 センター 12 名

### (2) 認知症サポート医養成研修事業

認知症の診療に習熟し、かかりつけ医等への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となるサポート医を養成。

国立長寿医療研究センター委託  
 e ラーニング及び Web によるグループワーク 修了者数 19 名



### (3) 認知症サポート医、とちぎオレンジドクター等研修会の開催

地域における認知症の人への支援体制の充実・強化や、認知症サポート医等の連携強化を目的として研修会を実施。

2 回開催予定

### (4) 認知症地域支援推進員研修事業

認知症地域支援推進員として必要な知識等を修得するための研修への派遣及び参加受講料を負担。

研修実施機関：(福) 浴風会  
 研修修了者 42 名 (新任者研修 30 名 現任者研修 12 名)  
 うち、研修参加受講料負担 42 名分

### (5) 認知症初期集中支援チーム員研修事業

各市町において認知症の人の早期診断・早期対応に向けて設置する認知症初期集中支援チーム員として必要な知識を習得するための研修参加受講料を負担。

研修参加受講料負担 (22 名分) 研修実施機関：国立長寿医療研究センター

(6) 認知症地域支援推進員活動促進事業

各市町が設置する認知症地域支援推進員の活動を促進するため、情報共有を行うための連絡会の開催や、普及啓発を行うためのチラシを作成・配布。

●認知症地域支援推進員連絡会の開催

開催日 令和7(2025)年2月7日

内 容 行政説明・情報交換会

参加者 33名

●チラシ作成 15,000部

(7) 市町認知症施策推進連絡会開催事業

各市町が実施する認知症施策の円滑な実施に向け、連絡会を開催し市町の取り組みを支援。

●市町認知症施策推進連絡会

開催日 令和6(2024)年12月24日

内 容 行政説明・認知症施策推進のための情報交換  
包括連携協定締結企業等からの情報提供

参加者 24名

(8) 認知症抗体医薬への対応に関するアンケート調査

厚生労働省の通知に基づき、アルツハイマー病の抗アミロイドβ抗体薬への対応状況等に係るアンケート調査を実施。レカネマブの投与について、「治療を実施している」または、「初回投与後6か月以降の投与を実施している」とし、かつ公表に同意した医療機関をホームページで公表。

10病院（令和7年2月1日現在）

### 3 認知症対応力の向上

(1) かかりつけ医向け認知症対応力向上研修

かかりつけ医の認知症対応力向上を図るため研修を実施した。

2回開催 17名修了（累計835名）

(2) 医療従事者向け認知症対応力向上研修（歯科医師・薬剤師・看護職員）＊各職能団体に委託

1) 歯科医師

歯科医師の認知症対応力向上を図るため研修を実施した。

2回開催 27名修了見込（累計384名見込）

2) 薬剤師

薬剤師の認知症対応力向上を図るため研修を実施した。

2回開催 30名修了見込（累計644名見込）

3) 看護職員

看護師の認知症対応力向上を図るため研修を実施した。

1回開催 73名修了（累計647名）

(3) 医療従事者向け認知症対応力向上研修（病院勤務、病院勤務以外）

1) 病院勤務

病院勤務の医療従事者の認知症対応力向上を図るため研修を実施した。

3回開催 102名修了（累計3,365名）

2) 病院勤務以外

病院勤務以外の医療従事者の認知症対応力向上を図るため研修を実施した。

2 回開催 143 名修了（累計 469 名）

(4) 認知症介護研修事業の実施

認知症高齢者に対する処遇技術の向上を図るため、介護職員に対する研修を下記団体に委託して実施。

(福) 恩賜財団済生会支部栃木県済生会	(福) 浴風会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症介護基礎研修（eラーニング） 講義等 1 日間</li> <li>・ 認知症介護実践研修 実践者研修（2回）（修了者数 158名） 講義等 5 日間 職場実習 4 週間</li> <li>・ 実践リーダー研修（1回）（修了者数 48名） 講義等 8 日間 職場実習 4 週間</li> <li>・ 認知症対応型サービス事業管理者研修（2回） 講義等 2 日間（修了者数 44名）</li> <li>・ 小規模多機能型サービス等計画作担当者研修（1回） 講義等 2 日間（修了者数 15名）</li> <li>・ 認知症対応型サービス事業開設者研修（1回） 講義等 3 日間（修了者数 5 名）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症介護指導者養成研修 第 1 回 R6. 9. 2～R6. 9. 13 R6. 10. 28～R6. 11. 1 （修了者数 1 名）</li> <li>・ 認知症介護指導者フォローアップ研修 第 1 回（集合）R6. 11. 11～R6. 11. 15 （修了者数 1 名）</li> </ul>

## 4 若年性認知症への対応

### 若年性認知症支援事業の実施

- ・若年性認知症支援コーディネーターを配置し、総合相談（電話相談・個別支援）や啓発活動を実施した。

- 電話相談件数 11 件（R6. 4. 1～R6. 9 末）  
〔電話相談〕 毎週土曜日 13:30～16:00、電話番号 028-627-1122
- コーディネーター対応の状況（R6. 4. 1～R6. 9 末）
  - ◇ 個別対応 総数 18 件（実人員 4 件）  
内容 相談、情報提供、コーディネート
  - ◇ 啓発活動 研修会講師  
栃木労働局との連携による雇用主への啓発研修  
栃木産業保健総合支援センターにおける認定産業医研修  
関係機関の体制構築支援 など

- ・若年性認知症支援に係る市町職員等研修会を実施した。

開催日	令和 7（2025）年 2 月 7 日
内 容	行政説明及び若年生認知症支援コーディネーターの活動報告 講話「NPO法人福聚会における若年性認知症のある方の居場所・職場づくり」 グループワーク「若年性認知症のある方への就労的支援の視点について考える」
参加者	35名